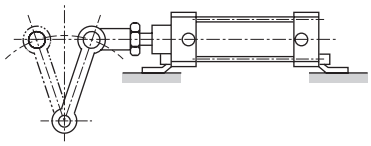
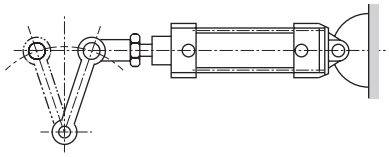
■ 固定形シリンダと円運動をするアームとを連結して使用はしないでください。この場合は揺動形シリンダと連結してご使用ください。



×

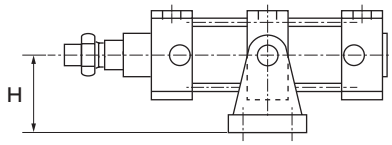


○

■ ピストンロッド先端ねじの折損やブシュの摩耗、焼付等を防止するために、ピストンロッド先端部と負荷との連結部は、ストロークのどの位置においてもこじることがないようにフリージョイント又は簡易フロコンなどで接続してください。

■ クレビスまたはトラニオンと相手軸受のすき間が大きいと、ピンや軸に曲げ作用が働きます。したがって、このすき間は、あまり大きくしないでください。
（推奨はめあい　　H10/e8）

■ 下図において、軸受ブラケットの取付面より軸受位置までの高さHが高い場合はシリンダ力によってブラケットの取付部に大きな力が発生し、ボルトなどの破損をおこすことがあります。



■ 低油圧シリンダは、微量ですがパッキン摺動部やガスケット固定部より油のにじみが発生する可能性があります。真空容器内又は、油がにじむことをきらう場所での使用にはご注意ください。

8.スペースの確保

⚠注意

■ シリンダの周囲には取付け、取外し、配線、配管作業のためのスペースを確保してください。

9.取扱説明書への明記

⚠注意

■ メンテナンス条件を装置の取扱説明書に明記してください。

● 使用状況、使用環境、メンテナンスによって製品の機能が著しく低下し、安全性が確保できない場合が発生します。メンテナンスが正確であれば、製品機能を十分に発揮させることができます。